



補聴器ですてきな会話



ふるさとの魚料理実習



まつおか だいご 松岡 大悟議員

学校再編の計画が進んでおり、香住区1次再編、香住区2次再編、村岡区再編が計画されています。

学校再編後のふるさと教育あり方は 課題検討委員会で調整しています



まず、各学校の校区が広がることで、ふるさとという概念が広範囲になり、薄れていくことを懸念するが、現行のふるさと教育と比較して、再編後はどのような手法でふるさと教育を行っていくのか。

教育長 ふるさと教育に関しては、校区は広くなりますが、香美町の将来を担う子どもたちが、変化の激しい地域基盤社会を生き抜きながら、ふるさとをいつも心の中に抱いているような人づくりを行っていくためには、不可欠な施策であると思っています。ですので、

学校再編によってふるさと教育に関しての方向性を変えることは考えていません。再編後の手法についてですが、教職員による課題検討委員会で調整を行っており、これまでに各学校が蓄積してきた教材を整理した上でカリキュラム編成を行っていくこととしており、詳細については検討を重ね、次の総合計画に反映させていただきます。

難聴高齢者の補聴器助成の創設を！

来年度予算で制度化を協議中です



たにぐち しんじ 谷口 眞治議員

支援の子ども医療費助成の所得制限の廃止②高齢化対策の高齢者の認知症リスク軽減の町単の補聴器助成制度創設③町民パスの予約制の見直し④JR香住駅の有人化⑤老人大学受講料無料化を進めるべきではないか。

町長 ①所得制限については、社会的公平性を図る観点から真に経済的支援を必要とする家庭を重点的に支援する施策で

合併後17年間で人口6545人減少、年間出生数65人、合計特殊出生率1.36、高齢化率42.1と人口減少、少子・高齢化が加速しており、少子・高齢化に対応する予算が求められている。①子育て

一定の線引きが必要であり廃止は考えていません。②町単独の難聴高齢者の補聴器助成については、来年度の予算編成で制度化に向けて協議中です。③町民パスの見直しについては令和6年10月に行う予定です。④駅の有人化はJRに要望中です。教育長 ⑤受講料の無償化は受講者に一定の受益があるので、考えていません。